

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液）を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

血液透析患者に対する骨粗鬆症治療薬投与後の骨密度、骨質への影響

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 莖田 昌敬（循環器呼吸器腎高血圧内科学講座 特任講師）

【研究の目的】

骨粗鬆症治療を行っている、もしくは行う予定の血液透析患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、骨粗鬆症治療薬投与後の骨がどのように変化するか？評価する研究を行うことといたしました。この研究は骨粗しょう症を合併する慢性腎臓病患者さん全体における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2023年4月から2025年12月に愛媛大学医学部附属病院また当院関連施設（済生会今治病院）において、骨粗鬆症を合併した血液透析患さんで、かつ骨粗鬆症治療薬を投与している、もしくは投与を予定している方（利用するカルテ情報）性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

（利用する試料）通常の診療で使用した後に残った試料（血液）

【共同研究について】

この研究は、他の病院と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化された状態で愛媛大学医学部附

属病院に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞

愛媛大学医学部附属病院 循環器呼吸器腎高血圧内科学講座 莚田 昌敬

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院循環器呼吸器腎高血圧内科 莚田 昌敬

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5303